

編集 後記

日本公衆衛生雑誌第50巻第2号をお届けする。本号では論壇1編、総説1編、原著2編、公衆衛生活動報告1編、資料2編を掲載した。対象や主題からみてバラエティに富んだ投稿論文が掲載されている。

筆者は昨年12月末にミャンマー中央部乾燥地帯を約1週間訪問した。訪問したのは、9世紀から13世紀までビルマ族による王朝が栄華を極めたエイヤーワディ（イラワジ）川流域のバガンという都市の近郊農村地帯である。日本のNGOがミャンマー人スタッフを主体としたチームを編成し、水の便の悪い村々に次々に井戸を掘削した。この計画の展開のため、同NGOは国際協力事業団の開発パートナーシップ事業を活用している。井戸の建設により水が得られるようになっても人々は雨水の味を好み、村はずれの溜め池に牛車を走らせ、乾期の水涸れの時期を除いては従来通り利用していた。牛車ごと用水の中に入り入れるので汚染は免れない。水管理組合を編成し揚水用ポンプの燃料代を捻出する方法はこのNGOにより動機づけられ、概ねうまく運営されていた。村人に聞くと、消費する水のほぼ60-70%は家畜用であり、残りが飲料水、沐浴、洗濯、炊事用であった。下痢症等消化器系感染症、皮膚疾患等は同じように井戸が建設された村々の間でも違いがみられた。乳児死亡率、5歳未満死亡率でみても同様で、道路の整備、交通の発達のようなinfrastructureと各種保健サービスの届き具合、すなわちprimary health careの実現している程度の方が井戸建設による水供給の変化より大きく健康指標に効いているようであった。通訳を介した面接調査と保健センターの台帳を元にした簡単な調査なので厳密なことは言えぬが、保健サービスの意義を考えさせられる貴重な体験であった。このほか感染症、栄養、環境衛生、救急医療と公衆衛生にかかわる幅広いテーマを考えさせられた1週間であった。
(衛藤 隆)

次号予告

論壇

5年間の保健所長仕事の小考察……………森尾眞介

総説

潜在的動脈硬化所見の早期発見とその公衆衛生的意義

米国における電子ビームコンピュータ断層撮影を用いた虚血性心疾患初回発症予防の取り組み……………関川 暁, 他

インターロイキン1 β にかかわる遺伝子多型と疾病リスク……………浜島信之, 他

原著

中年者における運動行動の変容段階と運動セルフ・エフィカシーの関係……………岡 浩一朗, 他

三つ子の出生体重・出生身長に関連する要因……………横山美江, 他

資料

初夏に某小学校で発生した小型球形ウイルス(SRSV)による集団食中毒事例……………田島 静, 他

徳島県における小中学校の児童生徒体格の集計(平成12年度データ)……………田中久子, 他

医療機関への立入検査と保健所機能に関する現状と課題……………佐藤牧人, 他

疫学辞典 第3版

A5判282頁 定価 本体2,900円(税別)送料実費

国際疫学学会後援図書

John M. Last 編

日本疫学会 訳

翻訳顧問 重松逸造 青木國雄

監 訳 柳川 洋 田中平三 箕輪眞澄

国際疫学学会編集「A Dictionary of Epidemiology」の日本疫学会による日本語版翻訳

本辞典は疫学に関心のあるすべての人、疫学の勉強を開始した人、疫学の用語を知る必要がある人に向けたものである。

疫学の用語の概念、原理、方法、手順を正確に記述したものの。

▶ご注文・お問い合わせは

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番8号

財団法人 日本公衆衛生協会

TEL 03-3352-4281 (代表)

FAX 03-3352-4605